

社会福祉法人千葉県聴覚障害者協会〔活動運営委員会〕
(活動運営委員◆各市聴覚障害者協会会長◆千通研◆県サ連代表)

事務局NEWS

令和2年度 No.32

今、全国的に 遠隔手話通訳等サービスの導入 の動きが活発化!!

市町村

J-TALK (千葉聴覚障害者センター) の場合

- ①セキュリティは万全。
(記録に残すのは通話時間のみ)
- ②音量の調整が不要になる(来年度予定)
- ③地域手話が通じる。
- ④地域の知ってる手話通訳者が対応。
- ⑤苦情窓口(千葉聴覚障害者センター)がある。
- ⑥地域の派遣事業と連携できる。
- ⑦日本語↔手話言語の翻訳的支援OK。
- ⑧相談員がピアで対応OK。
- ⑨電話リレー的支援も可能。

スカイプ等による映像通信の場合

・セキュリティ保護に懸念がある。

J-TALKの場合は

- ・無断録画できない。
- ・アドレスなど、情報漏洩の心配はない。

- ・地域の通訳者とは限らない場合もある。
- ・苦情窓口がわかりにくい。
- ・市町村の地域の派遣事業による緊急での現場派遣などの連携に制約がでる。

スマホに「J-TALK」アプリを入れて登録すれば、いざというとき、自分のスマホで遠隔手話通訳等サービスの利用ができるのね！これは便利！



千葉聴覚障害者センターは「J-TALK」と契約しております。

コロナ禍対策として、千葉聴覚障害者センター独自事業の一環として「ライセンス料(1D代)」などの減免措置があります。市町村において遠隔手話通訳等サービス制度の導入をご検討される場合、この情報を市町村にお伝えいただくか、千葉聴覚障害者センターまでご一報ください。

個人スマホでの対応もOK(ただし、一定の条件あり)興味のある方は当センターまでご相談下さい。

12月23日(水)夜8時から「地域協会代表者緊急説明会」を行います。
オブザーバーとして参加したい方は予め企画室まで連絡ください。
会場定員制限のため、申込先着順になりますのでよろしくお願いいたします。

